

## 六、乙姫神社

山形 久良木



神社本殿

◎祭神 玉依姫命たまよりひめ（記紀神話の神で神武天皇の母神。乙姫は“女

神の美称”）

◎例祭 \*夏祭り（祇園祭） 七月十四日

\*本祭り（新嘗祭） 十二月十日

◎社殿 \*本殿は瓦葺流造で、

高欄こうらん、脇障子わきしょうじを備えています。

◎由緒 \*拝殿は瓦葺入母屋造  
創建年代は不詳ですが、

江戸中期の古地図に神社の絵  
図が描かれていて、かなり古

くから祀られていたと考えられます。

◎奉納物 文化財等

\*境内入口の鳥居（明治九年丙子・一八七六建立）が老朽化したため、平成十九年に新しく建て替えられました。



境内全景



旧鳥居（明治9年・1876建立）



新鳥居（平成19年・2008建立）

\* 本殿前の燈籠（明治三十一年）の笠石上に「獅子の阿吽像」が刻まれていて貴重な石造物です。

\* 拝殿内には松浦敬一（豊姫神社の項参照）揮毫の「永錫類」（永く類を賜う・中国の詩経）の額が掲げてあります。

◆ 久良木区では本祭りの当日「頭渡し」の行事が行われます。

神社の幟旗のほりばたや幕などの祭具と共に種籾たねもみも手渡しして次年度の豊作を祈願します。

区には上組と下組があり、新しい営所の組内の関係者が御幣ごへいを先頭しんせんに行列をして諸道具を営所宅まで奉持し、その後、直会なおらい（神酒・神饌しんせん）をお下げていただく酒宴）が行われます。



「頭渡しご神幸」